

授業改善研究について

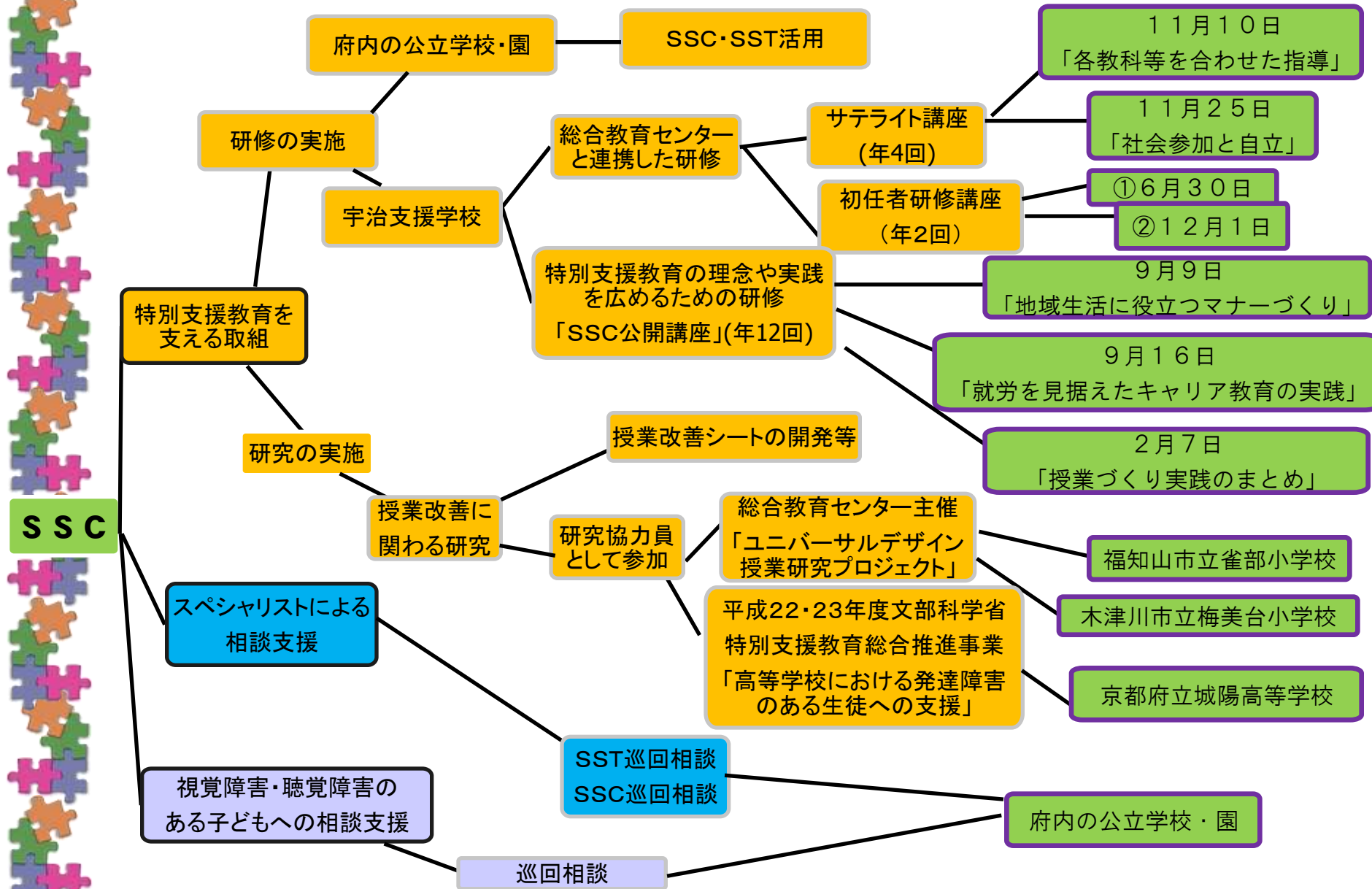
○期間：H23年5月～H24年3月

○対象：宇治支援学校 教諭（新規採用者）

○授業改善研究の目的（今年度のねらい）

- ・学級担任のPDCAサイクルによる授業づくりを宇治支援学校教員等と連携しながらサポートする（授業研究、研究方法等）。
- ・**授業改善ツール（授業づくりシート等）を作成し、日々の授業づくりに役立つものにする。**
- ・個別の指導計画・個別の教育支援計画を反映した授業改善を進める。
- ・校内の取り組みで得られた成果を**府内にも発信**する。

「SSCの授業づくり取組概要」



SSC

特別支援教育を支える取組

研修の実施

府内の公立学校・園

SSC・SST活用

宇治支援学校

総合教育センターと連携した研修

サテライト講座(年4回)

11月10日
「各教科等を合わせた指導」

11月25日
「社会参加と自立」

①6月30日

②12月1日

初任者研修講座(年2回)

9月9日
「地域生活に役立つマナーづくり」

9月16日
「就労を見据えたキャリア教育の実践」

2月7日
「授業づくり実践のまとめ」

特別支援教育を支える取組

研究の実施

授業改善シートの開発等

授業改善に関する研究

研究協力員として参加

総合教育センター主催
「ユニバーサルデザイン授業研究プロジェクト」

福知山市立雀部小学校

木津川市立梅美台小学校

京都府立城陽高等学校

平成22・23年度文部科学省特別支援教育総合推進事業
「高等学校における発達障害のある生徒への支援」

スペシャリストによる
相談支援

SST巡回相談
SSC巡回相談

視覚障害・聴覚障害のある子どもへの相談支援

巡回相談

府内の公立学校・園

宇治支援学校と連動した授業づくり・授業改善マネジメントサイクル

学校のスタンス

各学部の実践

実態把握

- ・アセスメント表・個別の指導計画
- ・個別の教育支援計画
- ・映像資料等・日常の様子（朝・集団）
- ・保護者の願い

授業づくり

- ・単元計画・題材の設定・授業計画
- ・個々の目標と学習活動の照合

授業当日に向けて

- ・学習指導案作成
- ・教材教具の作成・開発
- ・箇々の手立て
- ・指導者間の打ち合わせ→Pシート

A段階 (assessment)

P段階 (plan)

授業づくり・授業改善
のプロセス

D段階 (Do)

授業当日

A段階 (Action)

C段階 (Check)

- ・記録（ビデオ撮影）—客観視—子どもの動き—自分の動き
- ・指導案を基に記録—客観視—子どもの動きの想定—活躍、役割の進

- ・Pシートの再記入・前回との比較
- ・打ち合わせ—動きの確認—教材教具の再開発

次回の授業に向けて

- ・授業後の打ち合わせ—Cシート—その日の内に
- ・事前研—見学したメンバーで—映像—見学しなくても分かる
- 指導案検討
- P・Cシート活用
- ・模倣授業

授業後の振り返り（評価）

校内組織

外部活用

Pシート（授業づくりシート）

Pシートの作成

- ・ 授業準備をする上で「何を考えていたか」「大切なポイントは何か」についてSSCスタッフで思いつくことを付箋に記入した。
- ・ 約50項目ほどの中から関連するキーワード毎にまとめた。



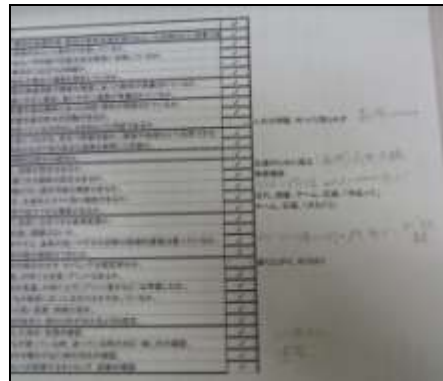
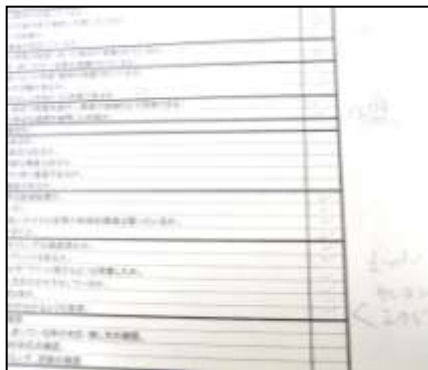
Pシートの項目

○ねらい ○関心・意欲・態度 ○役割
○環境設定 ○授業の進め方・指示の出し方
○担任・サブ指導者の動き 等

Pシートの活用：

「授業当日にむけて準備はできたかな？」と項目を振り返りながらチェック。継続してシートに記入することで、傾向が整理しやすい。

→**次時の授業への改善点が見えた！**



(例)
「児童の役割の部分に
チェックがない」→「実態
に応じて各場面に役割
を設けよう！！」

Cシート（授業振り返りシート）

Cシートの活用：

「今日の授業はどうだった？」と振り返りながらチェック。Pシートの項目と連動しており、事前にチェックしていたPシートと見比べながらできた点やできていなかった点を振り返り、なぜできていなかったかを確認。

→ **ポイントを絞って指導者間と確認ができる！**

授業振り返りシート（Cシート）

日付： 月 日 ()	単元・授業名：	記録者：
	項目	備考（改善点・次回の目標）
ねらい	本時のねらいは達成できたか。	
題材・教材・準備物	教材・教具をうまく活用できたか。	
	児童生徒に使いやすい教材・教具だったか。	
関心・意欲・態度	児童生徒が興味や関心を持って取り組めたか。	
生活	地域・生活で活かせる内容だったか。	
活動の流れ	授業内容の分量・時間配分は適切だったか。	
役割・関わり	児童生徒の主体的な活動・役割が見られたか。	
	先生・友達同士のやりとりは見られたか。	
環境	活動しやすい環境であった。 （動線・道具の配置等）	
	安全面に問題はなかったか。	
授業の進め方・指示	授業の進め方・指示は児童生徒にとって分かり易かったか。	
担任・サブTの動き	担任・サブ指導者の動きは計画通りだったか。	
	個々の児童生徒への評価は適切に行えたか。	

Pシートのチェック項目に応じて、担任がコメントを記入。

→Cシートで見つかった改善点・目標を参考にして次回のPシートを活用してください。

*本単元・本時でねらいにない項目については、斜線（/）もしくは未記入

まとめ

① Pシート・Cシートは授業検討や振り返りのポイントが整理されやすいので**授業改善に役立つ**。

「クラス会議でどのポイントで意見が欲しいか」

「次の授業はどこか一部分でも改善しよう」 等

・・・客観視できるシートがあることで自由自在に活用ができ、次の授業に向けてチャレンジできる。

② 更なる**活用の普及**を目指す

今年度はとくに、宇治支援学校の知的障害クラスで活用



肢体不自由クラスの授業づくりに対応した項目の整理

特別支援学級への普及（相談支援時に活用等）